

懸虹



公益財団法人 星総合病院

特集

遺伝カウンセラーに 聞きました！ 医療世界の大革命！ 遺伝医療のお話

- 開設93周年記念式典
表彰を受けました
- 緩和ケア通信
- 三春病院 病院長交代について
- 公立小野町地方総合病院へ職員派遣
- 三春病院リニューアル報告
- トピックス
- 連携医のご紹介



酔って帰る (F30, 1977)

星 一雄

ご存知でしょうか。日本は二〇二五年問題の対策が急務とされています。これは医療・介護を必要とする高齢者の急増と社会保障を支える労働人口の減少が招くバランス崩壊の構造です。いわば人手不足と財政難の問題です。一方、ICT・AIなどに代表される科学技術の進歩は目覚ましく、十〜二十年後には約半数の仕事が無人工化されるとの研究報告もあります。様々な分野で自動化が進めば人手不足の解消につながるかもしれません。

そして、医療の技術革新も進んでいます。近年、ゲノム(遺伝子情報)がコンピュータで解析できるようになりました。これは効率的かつ効果的な病気の予防や診断・治療が可能になると期待される技術で「ゲノム医療」といわれています。具体的には患者さんの体質や病気の特性に合わせた治療ができるというものです。このように技術革新の弛まない進歩は私達に大きな恩恵を与えてくれます。

私達医療技術者は、恩恵を受けながら時代のニーズに応えられるよう研鑽する責務があります。地域の皆様の健康的で幸せな暮らしを支援するために。

中央検査科

滝澤 貴叙

遺伝
カウンセラーに
聞きました！

医療世界の大革命！ 遺伝（ゲノム）医療のお話



近年「出生前診断」について報道されるまで、遺伝医療についてはあまり聞いたことがなかったように思いますが？



1953年に遺伝の二重らせん構造が発見され、1990年には人間の遺伝子構造を全て読み解く「ヒトゲノムプロジェクト」が本格化、2001年には114億円あれば自分の全ての遺伝子を解析できるようになりました。

それから急激に検査機器が進歩し、遺伝子の研究は美容・健康など様々な分野で急速に進んでいます。



2003年までは
13年かかった
遺伝子解析が
2014年には1日で
終わるものに！



アメリカを初め世界各国で国を挙げて「遺伝医療」を進める理由は何ですか？



アンジェリーナ・ジョリーさんの報道（詳しくは前号に掲載）後、オバマ前アメリカ大統領が「プレジジョンメディスン（最先端遺伝医療）の推進」を提唱しました。その2年後の2016年12月、日本でも「がんゲノム（遺伝）医療推進への決意」が出されました。遺伝子を調べて医療の選択をすることは、これまでとは比べ物にならないほどオーダーメイドな医療を一人ひとりに提供できるということです。近い将来、その人に効果のある治療を必要な分だけ提供することが可能になり、最適な治療を見つけるまでのコスト、副作用に対する治療費など様々な医療費の削減が可能になる時代が来るのです。



星総合病院の取り組みについて教えてください



星総合病院の野水病院長は、日本の「家族性腫瘍／遺伝性腫瘍診療」の第一人者です。星総合病院では全国に先駆けて1991年に「がんの遺伝外来」をスタートさせ、



左：赤間 右：野水病院長

2017年には遺伝カウンセリング科を設立しました。がんの遺伝医療の中での“患者さんの気持ちに寄り添った遺伝カウンセリング”は星総合病院が発祥であり、必要な患者さんの全てに遺伝カウンセラーが細やかに関わる医療サービスの提供は他にはあまりないのではないかと自負しています。



遺伝カウンセラーの業務ってどんなものですか？



現在では全国で226名が活躍していますが、福島県では私1人です。

星総合病院では、がんで手術をされる患者さん全ての家族歴をとり、遺伝子検査の必要性を確認し、ご本人にお話ししています。まず、遺伝子検査を受けるかどうかについて細やかにカウンセリングするということがとても重要なのです。

例えば、50代で乳がんになった患者さんの姉妹や親戚にもがんの方がいらっしゃる、娘さんは30歳で何の症状もないという場合、娘さんが市町村の乳がん検診を受けるまでにはあと10年ありますが、その間に乳がんになる可能性がどれくらいあるのか？は「遺伝」の可能性の有無で大きく差が出ます。

遺伝病は患者さん1人の問題ではなく、家族、これから家族になる人まで関係する可能性のある、生涯にわたって付き合っていかなければいけないものです。人によっても、病気によっても、その時の最善の方法は異なり、また医療の発展によっても変化していくものです。「患者さんや家族に正しい情報をお伝えし、心配になったり困ったりした時いつでも相談に乗る」ということが私たち遺伝カウンセラーの仕事です。

これまでは、遺伝病に苦しむ人だけの“特別な医療”だったものが、今後は血液型や血圧などのように患者さんの基本情報の一つとして遺伝子に加わる時代が来ます。まだまだ医療関係者にも浸透していない、これまでには例を見ないほどの革命的变化について分かりやすく啓発していくこと、遺伝病に苦しむ方やその周囲の方々に正しい知識を伝え、一緒に歩んでいくことが使命と考え、今後も頑張ります。



赤間 孝典 (あかまよしのり)

星総合病院
遺伝カウンセリング科
認定遺伝カウンセラー

- 2005年 看護師として医療に従事
- 2011年 信州大学医学部大学院遺伝カウンセリングコース修了(医科学修士)後、星総合病院に勤務し、認定遺伝カウンセラー資格取得
(がん、小児、周産期、神経など様々な領域の遺伝学的検査に関わる遺伝カウンセリングの専門職)
- 2013年 遺伝カウンセラー業務開始
- 2017年 星総合病院遺伝カウンセリング科設立
一般社団法人ゲノム医療当事者団体連合会副理事就任

公益財団法人 星総合病院 開設93周年記念式典

4月19日、星ヶ丘病院体育館において職員500名以上が出席し「開設93周年記念式典」を挙行了しました。星北斗理事長の式辞に続いて表彰式が行われ、受賞者を代表して勤続35年表彰の介護老人保健施設オリオン渡辺美智子さんが謝辞を述べました。

表彰者 (敬称略)

- **ベストトレーニー賞** (昨年度法人各施設における実習生・研修生のうち、他の規範となる態度で研修をされた方)

吉田 胡桃 (東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学部3年)
約2ヶ月、星総合病院中央検査科で実習し、主体的で真摯な姿勢が他の模範となった。

- **ベストトレーナー賞** (昨年度法人各施設における実習生・研修生の指導者のうち、特に優秀であった職員)

矢吹 俊二 (星ヶ丘病院 A2病棟 保健師・看護師)
実習者・研修者からのアンケートで名前が多くあがった者のうち特に優秀であった。

- **年間エース賞** (勤務成績が職員の規範となる者、業務上有益な発明・創意工夫をした者)

星総合病院 呼吸ケアサポートチーム
365日昼夜を問わず集中治療室における人工呼吸器の管理や肺合併症予防、人工呼吸器の離脱を目指した積極的なりハビリテーションを行い、早期離床加算取得に貢献。

芳賀・小原地域包括支援センター
平成18年度に郡山市より委託を受けて以来、地域高齢者約5,000人の総合相談窓口としての役割にとどまらず、地域ケア会議、介護予防教室、住民向けの講座や啓発活動など積極的に地域に出向いた活動を行い、その実績が評価され「福祉まるごと相談窓口」の委託にもつながった。

- **永年勤続表彰** (108名)

勤続35年	(2名)	勤続30年	(11名)	勤続25年	(14名)
勤続20年	(15名)	勤続15年	(22名)	勤続10年	(44名)



表彰を受けました

田村警察署より 感謝状

12月28日、警察嘱託医としての検視業務に対し、三春病院 渡辺直彦病院長が田村警察署より感謝状を授与されました。



渡辺病院長

労働基準行政関係功労者 厚生労働大臣表彰

12月27日、福島労働局地方労災医員としての20年にわたる貢献に対し、星ヶ丘病院 沼田彦病院長が厚生労働大臣から表彰されました。



沼田病院長、島浦福島労働局長

第10回熊代賞受賞 (医師部門・メディカルスタッフ部門)

福島県立医科大学において第29回福島県精神医学会学術大会が開催され、星総合病院精神科 金子春香先生の『Aripiprazoleにて性欲亢進を呈した統合失調症の一例』が最優秀賞を、星ヶ丘病院看護部 平岩彩さんの『行動制限の減少に向けた行動制限チェックシート導入の試み』が優秀賞を受賞しました。

熊代賞：精神科医療従事13年未満の若手医療者による研究の振興を目的とした賞



平岩さん、沼田病院長、金子先生

緩和ケア通信

懸虹第1号

緩和ケアって？

緩和ケアとは、重い病を抱える患者さんやそのご家族一人ひとりの身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えて行くケアのことです。当院では「患者さんの苦痛をできるだけ和らげ、最期の時まで積極的に生きていけるよう支援する」ことを理念にしています。



緩和ケア病棟は新たな体制へ

平成25年、星総合病院の移転オープンとともに開設した緩和ケア病棟も今年1月で満5年となりました。開設準備の段階から緩和ケア専門医のもと「緩和ケア」とは何か、一人ひとりの患者さんにとっての最良は何かを考え、学び続けてきました。昨年4月、地域の緩和ケア発展に尽力された専門医の退職にともない、新たに緩和医療科部長2名を置いた主治医制へと変更しました。院内の患者さんは主治医の変更なく緩和ケア病棟への転棟を選択できます。

当院では、医師・看護師だけでなく、理学・作業療法士や管理栄養士、調理師や臨床心理士など様々な職種が患者さんやご家族の「よりよく生きる」を応援しています。



ボランティアコンサート



クリスマス会



季節の食を楽しむイベント



バーベキュー



遺族会「星空の会」



まめまき

病棟内のご紹介



病室から直接出られる中庭



キッチンもある多目的なラウンジ



ゆったりした機能的な病室

啓発活動



市民公開講座



緩和ケア週間イベント

お問合せ：星総合病院 地域連携課 TEL：024-983-5512

三春町立三春病院 病院長交代のお知らせ

平成30年4月より三春町立三春病院病院長が交代となりました。



新病院長
渡辺 文明

●就任あいさつ

これまで32年間、外科医師として主に腫瘍外科を中心に臨床に携わってきましたが、今後は三春町内の先生方をはじめ関係各位の皆様のご支援ご協力を賜りまして質の高い医療を提供し、地域の皆様のお役に立てればと思っております。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

●診療科 外科・内科

●外来診療日 外科：毎週土曜日午前

内科：毎週金曜日午前・土曜日午前

公立小野町地方総合病院へ職員派遣協力

小野町地方総合病院企業団から派遣依頼を受け、平成30年4月より3名の職員を派遣しています。

○病院長 渡辺 直彦
(前 三春町立三春病院 病院長)

○参 与 別府 禎子
(前 星総合病院 総看護師長)

○参 与 椎名 亨
(前 法人事業本部 事務局課長)



医療機器が新しくなりました

町立
三春病院

より質の高い医療提供を続けて行くため、町立三春病院では昨年の春から様々な医療機器を新しくしています。今後も地域の皆様の要望に応え、医療・看護の充実を図るために一層の努力をしております。

放射線科検査診療機器 ポータブルX線撮影装置



移動が難しい患者さんが、病室や手術室などでX線撮影できる可動式の撮影装置です。

これまでよりも撮影時間が短くなり、その分被ばく量も下がります。

X線をブザー音とランプで知らせ、より安全に検査できるようになりました。

撮影した画像は3秒後にパソコン画面に表示され、その場で画像を確認できます。

新しくなった医療機器等の情報はまた次号で紹介します。

看護師特定行為 研修項目追加!

研修を受けた看護師が特定の医療行為を行う「看護師特定行為研修」の制度開始を受けて、当法人では平成28年2月に指定研修機関として許可を受け、4月から第1期生の研修が始まりました。この2年間で「創傷管理関連研修領域」6名が修了し、平成30年からは「ろう孔管理関連」「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」の3領域が追加されました。



大町キッズベースオープン!!

法人では「子どもに関わる全ての人の幸せの創造」をめざし、“こども事業部”を立ち上げて保育事業や子育て・教育に関することなど様々な取り組みを進めてきました。4月4日、旧星総合病院の通りに「大町キッズベース」がオープン。子ども達や地域の皆さまの活動拠点(ベース)となるよう、様々な事業に取り組んで参りますのでよろしくお願ひします。

健康相談や
育児相談もできる
「町の保健室」を
目指します♪

キッチンも完備♪
料理教室開催や
憩いのカフェにも
会合やサークル活動などにも
お使いいただけます

《内容》 乳幼児一時預かり事業 フリースクール
児童クラブ 地域の方向けのイベント

お問合せ 公益財団法人星総合病院 大町キッズベース
〒963-8001 郡山市大町2丁目3-26
☎024-953-5401 8:45~17:15 (日・祝日 定休)



平成30年5月 イベントカレンダー

☆イベントがなくてもカフェは開店中☆

	月	火	水	木	金	土	日
	4/30	5/1	2	3	4	5	6
AM	振替休日			憲法記念日	みどりの日	こどもの日	休
PM							
	7	8	9	10	11	12	13
AM	児童クラブ 一時預かり開始	みんなのキッチン 17:00~	看護の日 イベント	10:00~11:00 おおまち体操	出張オレンジ カフェ	野菜販売	休
PM							
	14	15	16	17	18	19	20
AM	習字教室	福祉まるごと 出張相談室	ベアトレ	13:00~15:00 オーガニック講座	SUPPORTERS CAFÉ	野菜販売 10:00~	休
PM							
	21	22	23	24	25	26	27
AM	昭和レトロ カフェ	マザーズ ベイドカフェ		そばうち 実演 ランチ会	児童クラブ 調理実習	野菜販売	なかよし クラブ
PM							
	28	29	30	31			
AM	習字教室	健康カフェ	ベアトレ				
PM							

の利用は
事前に申し込
みが必要です。

地域で活動している
障がいを持った方
のためのくつろぎの場

医療法人やすらぎ会 いがらし内科・外科クリニック



- 所在地 〒963-7851
郡山市並木二丁目12-7
TEL. 024-931-3200
- 診療時間 【月～金】9:00～17:30
【土】9:00～17:00
- 開設者 五十嵐 忠行
- 診療科目 内科、胃腸・消化器科、循環器内科、神経内科、漢方内科、乳腺外科、外科、甲状腺疾患

「チームやすらぎ」から「やすらぎワールド」へ

郡山市における在宅医療の中心的存在、「チームやすらぎ」はあまりにも有名です。「安全・安楽・安心そしてやすらぎ」がモットーです。

理事長の五十嵐忠行先生は消化器内視鏡治療のパイオニアであり、今でも多くの方々の治療に携わっておられます。取材当日も大腸内視鏡の真最中。30分ほどお待ちすると、「まだまだ上達するなあ」と言われガウンを脱ぎながらテーブルに着かれた。経験豊かで確かな腕を持ちながら「もっともっと上達すべき」とお考えの先生に驚かされました。クリニックの魅力取材したい趣旨をご理解いただいたのか、先生からは「チームからワールドへ」の内容でお話がありました。



五十嵐忠行 理事長

新クリニックで実現したい未来の地域医療

いがらし内科・外科クリニックは平成29年4月にリニューアルオープンされました。新クリニックに込められた思いを伺いました。

五十嵐先生からは「一種のアドベンチャー」とのお答でした。クリニックでありながら9つの診察室、CTや先端の内視鏡機器など病院規模の施設です。先生の表現をそのままでお伝えすれば「人は、歳をとると歯も悪くなるし、足腰も痛くなります。女性の健康を守るならば健診も必要です。クリニックのそばには、家があり、マンションがあり、学校があり、多くの人々が生まれ、暮らし、死んでいきます。マンションはシェアハウスとなり、ホスピスになり、そのコミュニティの中にクリニックもあるということです。」先生の言葉からは「地域包括ケアの信念」を感じずにはいられませんでした。

まさに、そこには「やすらぎワールド」の理想郷がありました。



医療を続けていく原動力

地域医療を続けていかれる力の源をお聞きしました。

「私たちは、患者さんの病気を見逃してはいけません。つまり一般診療のレベルを下げないことです。EBM研究会を立ち上げて35人の仲間と日々勉強中です。ひとつひとつの症例が学問になっていくのだと思います。それから最も強い力と成り得るのは、人との繋がりで、縁あって勤務してくれたスタッフの個性を生かした事業展開を大切にしています。例えば、コミュニケーション能力に長けた渡部看護部長で言うならば、彼女は確実に地域を掴んでいて3,000人の住民を支えています。当院が在宅医療に力を入れるのは当然のことなのです。」診診連携・病診連携を大切に下さる理事長の原動力は、学び続ける強い意志と、人との繋がりを大切にされる思いであることを知ることができました。

星病院に期待していること

「星総合病院は理事長のリーダーシップの下でまとまっていると思います。学術的である一方で、家庭的でもあり、医局にも病院全体にも自由な気運が伺えます。今後も共に学び、地域医療の役割を果たしていきたいと思います。」先生からの嬉しいコメントに笑みがこぼれる取材となりました。

(星総合病院 広報 佐藤 美重)

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス

<http://www.hoshipital.jp>

発行／公益財団法人星総合病院

編集／法人広報部

発行日／平成30年5月

住所／〒963-8501

郡山市向河原町159番1号



公益財団法人 星総合病院

- 星総合病院
〒963-8501 福島県向河原町159番1号
TEL. 024-983-5511(代)
- 星ヶ丘病院
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7
TEL. 024-952-6411(代)
- 三春町立三春病院(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地の1
TEL. 0247-62-3131(代)
- ほし横塚クリニック
〒963-8803 福島県郡山市横塚2丁目20番36号
TEL. 024-956-7778
- 星訪問看護ステーション
〒963-8803 福島県郡山市横塚2丁目20番36号
(ほし横塚クリニック内)
TEL. 024-956-2322

●サテライト星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL. 024-962-1711

●サテライトしすか
〒963-0209 福島県郡山市御前南5丁目18番地
クレストパークB棟102号
TEL. 024-983-6410

●サテライト三春(三春病院内)
TEL. 0247-73-8270

●介護老人保健施設オゾン
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天2
TEL. 024-952-6413

●芳賀・小原田地域包括支援センター
〒963-8822 福島県郡山市昭和2丁目21-3
ダイセゾニックビル1階
TEL. 024-941-1121

●星総合病院在宅介護支援センター
(ほし横塚クリニック内)
TEL. 024-983-5515

●居宅介護支援事業所星ヶ丘(星ヶ丘病院内)
TEL. 024-952-6414

●養護老人ホーム三春町敬老園(指定管理)
〒963-7752 福島県田村郡三春町字六升50番地の1
TEL. 0247-62-3618

●ポラリス保健看護学院
〒963-8801 福島県郡山市向河原町159番7号
TEL. 024-983-5010

●ほしのご保育園
〒963-8501 福島県向河原町159番1号
TEL. 024-983-5519

●星ヶ丘保育園
〒963-0211 福島県郡山市片平町字北三天7-3
TEL. 024-951-0788

●三春町第1保育所(指定管理)
〒963-7769 福島県田村郡三春町担換1丁目4番地の1
TEL. 0247-62-3839